

# もつ鍋居酒屋 熱炎

愛媛県大洲市東大洲414  
TEL/FAX.0893-24-1771

対談

代表

藤田 祐一 × 藤波 辰爾

インタビュー

【ドラディション・プロレスリング】



INTERVIEW W

YUICHI FUJITA × TATSUMI FUJINAMI

## うまいもつ鍋を居心地のよい雰囲気の中で。人との縁を大切に確かな成長を



**藤波** 早速ですが、もつ鍋居酒屋熱炎さんはいつオープンされたのですか。

**藤田** 平成二十年八月です。以前は大洲の居酒屋で店長を務めており、三十歳を過ぎた頃から独立を考え始め、新規開店希望者の相談に乗って下さる「開店・繁盛支援センターえひめ」を利用して開業した次第です。

**藤波** メニューを拝見しましたが、その種類の豊富さに驚きました。それともつ鍋をメインメニューにされているのですか。

**藤田** もともとメインにする予定はなかったのですが、開業に当たって「ありきたりなメニューだけではなく、当店にしかないものを作っていきたい」という思いがあり、私自身が大好きだったもつ鍋をメニューに加えようと考えました。ただ、レシピを持っていないだったので、「おいしい」と評判の松山のもつ鍋店に週三〜四回通いながら試作を重ね、私が納得できる味を出せるようになったことから、思い切って看板に「もつ鍋」を掲げることにした次第です。

**藤波** おいしいもつ鍋に仕上げるには食材の吟味も大切なのでしょうか。

**藤田** おっしゃる通りで、もつ鍋に使用する

るすべての牛の部位は業者さんをお願いして国産のものを仕入れています。その他の食材についても魚は鮮魚の卸で有名な八幡浜市魚市場の業者さん、その日一番のお勧め品を直送して頂いていますし、「媛っ子地鶏」という地元で一番人気の地鶏も生産農家さんから直接納入してもらうなど、地元産の新鮮な素材の仕入れています。これも「お客様に愛媛のおいしいものをいっぱい食べて頂こう」という思いからです。一人でも多くの地域の生産者さん、卸業者さんなどのご協力を頂きながら地元産に密着し、貢献できればと考えています。

**藤波** 店づくりからメニューに至るまで、あちこちにお客様を楽しませる工夫が感じられ、特に店内の居心地のよい雰囲気は格別で、本当にゆっくりくつろげますから家族連れの方でも楽しめそうですね。

**藤田** 自分自身が楽しめないと思ってしまうし、経営者というより現場を大切にしている人間ですので、「今日は誰に会えるのかな」と楽しみで仕方ないのです。だからこそお客様を飽きさせないように頑張ろうという姿勢で取り組むことができている。ちなみにお部屋については座敷の他、大広間と四十名様まで収容できる宴会向けの部屋もご用意しています。さて、自慢のもつ鍋をご用意しましたのでご試食下さい。

**藤波** 有り難く頂戴します。これはうまい！もつ鍋の本場福岡でもこれだけ大きな一級品のもつを楽しめるお店は少ないですし、味も文句なしです。

**藤田** ありがとうございます。他にも「媛っ子地鶏」のたたきや天然物の鯛、女性スタッ

フお勧めのじゃがいもで衣を作ったエビマヨネーズなどもご用意しました。

**藤波** 「媛っ子地鶏」は柚子胡椒のさわやかなピリ辛が抜群の美味を引き出していますね。鯛もおいしいですし、エビマヨネーズは衣のサクサク感は何とも言えません。仕事でお邪魔していただいたらお酒が飲みたいところですが(笑)、お酒にも熱炎さんならではのこだわりをお持ちなのでは。

**藤田** オートドックスなものはもちろん、各種の焼酎をブレンドして当店オリジナルの名前を付けた焼酎もお楽しみ頂けます。

**藤波** とところで、「熱炎」という店名は「熱演」に由来しているのですか。

**藤田** はい。「演」には「演出」や「演奏」など色々な意味がありますが、それらを普通にするのではなく、熱い気持ちを込めれば演じるのではなく本物に変わると。つまり「炎」のように熱く生き、自分の力を発揮し、お客様のために最高の演出をする」という思いを表現した店名です。

**藤波** 確かなコンセプトを持っておられるのですか。では、現在のスタッフ数は。

**藤田** 六人です。お客様がスタッフに会いに来るといった感覚でお越し下さるようになるのが理想ですので、まず私がお客様に声を掛け、その中でスタッフに話を振るようになっています。そうすることで会話しやすくなるでしょう。

**藤波** 橋渡しをしておられるのですか。では、今日までを振り返っていかがですか。

**藤田** 楽しい時も、しんどい時も、不安になる時もあります。一組でも一人でもお客様が来てくれれば需要があるということ

で、それを広げるためにはどうすればいいかを考えるだけです。まだ始めたばかりですし、手掛けたことも色々ありますから、昨日の自分より今日の自分が成長していればいいと思っています。

**藤波** 最後に今後の夢を教えてください。

**藤田** 目標は大洲の皆様が支持される一番人気の店にすることで、店舗数も増やしていきたいと思っています。そして人との縁を大切に、より多くの人とかわって良いところを吸収し、自分の糧となるよう前向きに取り組んでいきたいですね。最終的な夢は大好きな沖繩への移住です(笑)、いずれは沖繩にも一店舗は出したいですね。

**藤波** 三十三歳とまだ若い代表ですが、そのしつかりとしたお考えに感服しました。これからもお客様に愛される店として大いに飛躍されることを期待しています。

### ① INFORMATION

炎のドラゴン・藤波氏も絶賛！  
こだわりのもつ鍋をご賞味あれ

